

Z会進学教室 葛西通信 4月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切に、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室の先生の声をお伝えします。

「メディアリテラシー」

数学 中村未来男先生

昨今、ネットに流れるフェイクニュースが話題である。これに対し、大手のマスメディアは、プロが裏付けをとりながら、取材調査を行う。確かに誤報はあるが、それが明確化したときは、責任を追究される。ネットとは異なり、伝えられる事実関係に嘘はめったにない、と考えてよいかもしれない。だが、それゆえにこそ、巧みな世論操作が出来る。メディアリテラシーを高めるためにも、その基本的特徴を把握しておかねばならない。それは多岐にわたるが、ここでは、彼らの行う集中的な報道＝「キャンペーン」の問題に絞っておこう。

これまでマスメディアによって、少年による凶悪犯罪が相次いでいる、というキャンペーンが、幾たびも行われてきた。特に1997年、ある猟奇的事件をきっかけに、連日テレビ、新聞は少年の殺人を、次々と報道し、少年による殺人が激増しているように見えた。これらの報道一つ一つには嘘はあるまい。だが、当時、少年による殺人は減少していた。戦後の日本の少年による殺人は、1960年代の高度成長期が最も多く、年間400件前後で推移していたが、97年当時は、100件前後で推移していた(現在は大体50件前後)。我が国の少年(20歳未満)による殺人は、件数(認知件数)、少年の単位人口あたりの件数率ともに、長期的に見て、大きく減少してきたのだ。これは、どういうことだろうか。97年当時、大人も含めた殺人事件は、1300件ほどだった。現在は約900件ほどである。だが私たちは、年間900件(1日3件近く)の殺人など聞いていない。年間千件近くある殺人が大きく報道されれば、ニュースは殺人で埋まることだろう。報道されるのは「氷山の一角」である。それまでわずかし報道されていなかった殺人が、連日、大々的に報道されるようになれば、皆、殺人が急に増えたように感じる。私たちは、普通、報道を通じてしか殺人を知ることはない。つまり、実際に殺人は減っていても、報道量が増えれば殺人が増えたように感ずる。

殺人が、何かのきっかけで、世間の耳目をひき、発行部数、視聴率を稼げることになれば、各局(各社)、大きく報道するようになる。少年による殺人事件には、しばしばこのようなことが起こる。こうした場合、メディアは決して嘘はついていない、といえる。だが私たちは、完全に間違った情報操作をされたことになる。実際には殺人が減っていても、報道量が増えることで、増えたと判断してしまうのだ。日本では、少年による殺人は少ない、といったが、実はこれは驚くべきことなのである。世界的に見て、殺人をはじめとする少年の凶悪犯罪の件数率は、大人よりも高いのが普通である。犯罪学者は、これをユニバーサルカーブと呼んでいる。ところが、この現象には際立った例外がある。現代日本である。万引きなど、軽犯罪の件数率は大人より高いのだが、前述のように、日本の少年による殺人事件は、急速に減少し、件数率も、大人よりはるかに低くなっている。これは凶悪犯罪全体にあてはまる。しかし日本のメディアは、世間の耳目を引く事件が起こるたびに、少年犯罪キャンペーンを行い、それに伴って、何度となく刑法は少年に厳しくなる方向に改正されてきた。無論、凶悪犯罪の件数率の増減とは別に、少年犯罪の罰則は甘過ぎる、という議論は成り立つ。しかし、これらの刑法改正は、少年による凶悪犯罪が増えている、という誤った印象操作に基づく世論の高まりが、国会を動かした結果であった。専門家の中には、少年による殺人が減っている事実を指摘する声もあった。そこでメディアは、少年犯罪が「凶悪化」とした、とか、「相次いでいる」などと、嘘が明確に指摘できないように、言い回しを工夫していった。



こうした情報操作は枚挙に暇がない。例えば現在、高齢運転手による死亡交通事故が多発している、とするキャンペーンが行われている。だが実際には、高齢者の免許人口の増大により、全死亡事故に対する、高齢者による事故の割合は増えているものの、高齢者による死亡事故の件数および発生率(70以上の免許人口あたりの死亡事故)は、長期的には減少傾向にある。もともと20代の若者と、70代以上の事故の発生率は高いので、判断力の衰える70歳以降の方は、運転を避けるべき、という議論には一理ある。だが、それまでは報道していなかった老人の事故を、メディアが大量に報道しはじめれば、事故数(率)も上昇したように見えることは、少年による殺人の話と、同じ構造なのだ。更にこれが免許返納キャンペーンのような、社会的キャンペーンにつながる場合は、実際の弊害をもたらすこともある。田舎では、鉄道が廃止されるなど、車なしでは生きにくいように社会が変化している。そうした社会構造を、どう改善するか検討することなく、免許返納キャンペーンが先行すれば、弱者切り捨てにつながるかもしれないのである。

一般に先進国の国民は、政府に洗脳されるより、メディアに洗脳される。私たちは、メディアの「報道量による洗脳」に十分留意する必要がある。政府に対する批判的視線とは逆に、私たちのメディアリテラシーは、あまりにも低すぎる。では私たちは、メディア報道にどのように対処すべきか。メディアのキャンペーンは、キャンペーンであると、はっきり銘打っているわけではないことに特徴がある。私自身はまず、各メディアが、どのようなニュースを、どのような順序、大きさを報道するかに留意する。何があったかと同時に、メディアが何を大きくとりあげているか、に注意するのだ。それによって、彼らが、現在、何をキャンペーンしたいか知る。特に今までもあった可能性が高いにもかかわらず、あまり取り上げられていなかった事柄が、急に上げられだした時は、要注意である。更にキャンペーンにとって都合の悪い事実(ex少年による凶悪犯罪は減っている)は、報道されないことも意識する必要がある。

私は、メディアがキャンペーンを行う事自体が、悪いこととは思わない。だがその内容が支持できるかどうかは、報道量にまどわされることなく、慎重な検討が必要である。特に、メディア各社によって見解が分かれずに、一斉にキャンペーンが行われるケースは、かえって注意が必要だ。我々自身の興味をそそったり、一般的に信じられている社会観(ex少年犯罪は増えている)を補強することで、視聴率、発行部数を稼げる話題なのだ。メディアのキャンペーンを知ることは、私たち自身が、何を求めているか知ることにつながるだろう。

卒業生より

葛西教室の卒業生の声をお伝えします。

「高校受験、大学受験を経て」

葛西教室卒業生
松岡康平くん

皆さんはじめまして。僕は3年前に葛西教室から日比谷高校に進学し、今年の春から東京大学理科2類で学び始めるものです。この自己紹介を読んだだけで、「すごい人が来た」、「私とは頭の作りが違う人だ」とは思って欲しくありません。僕の中学時代、高校時代、中高の総括と最後に各教科における僕からのちょっとしたアドバイスの4点を記すことで、「日比谷や東大でも、才能ではなく努力で十分合格できる」ということを実感して欲しいです。

中学時代

定期テストの順位が60位台(江戸川区立中です)になり中2の春にZ会に入塾。理由は友達がいなさそうだから笑。確か最初の春期講習確認テストはギリギリ教室掲示でマーカーを引いてもらいました。当時の先生が部活で忙しそうにしていた僕を見て、日曜日(日曜に3教科を全てやる2Kコースに通っていましたが)にZ会を完結させれば?と提案してくださり、日曜は夜遅くまで自習室に残り宿題を終わらせていました。成績は順調に伸び、よく葛西教室の2Kの中で1位を取ってました。小松川高校(よくて戸山高校)に入れば良いかな?とっていた中2の冬に保護者会で日比谷高校を勧められましたが、自分とは関係のない話だと思っていました。ところが中3の5月に阿部先生に直接「日比谷どう?」と言われ、当時阿部先生に恐怖を感じていた僕は「目指します」と即答してしまいました。日比谷に行くには圧倒的に学力が足らなかったんで、自分自身が暇で葛西教室が開いていれば必ず行くというルーティンを作り、毎日Z会に通って自習していました(木曜日は御茶ノ水教室に行っていました)。模試などの判定は全く駄目でしたが、最後まで粘り強く努力した結果、本番2週間前くらいに過去問の点数を計算すると合格点に達していました。当日の朝もリスニングの対策をして、合格。2Kコースからの大逆転だったなと今振り返ると思います。



高校時代

高校に入ってまず衝撃を受けたのは周りのみんなの頭が良すぎたこと。最初の校内模試は288位で友達を含め誰にも言えませんでした。大逆転を成し遂げた中学時代を思い返しました。自分はずっとZ会の自習室で勉強していたなあ。僕は家で勉強しようと四苦八苦していました。でもそれは無理。開き直りました。大学受験で問われるのは家で勉強する能力じゃなくて、勉強場所とは無関係の自分自身の学力だと。そこから自分自身が暇で九段下の千代田図書館が開いていれば必ず行くという中学時代に似たルーティンを始めました。そしたら成績はうなぎ上り。高1の終わりで41位になっていました。高2はずっと40位台でしたがしぶとく努力し高3では2位を取るようになり、日比谷ですらA判定を取れなかった自分が東大でA判定を取れるようになっていました。でも考えてみれば当たり前のことです。仮に人より多く毎日1時間勉強できれば、100日で100時間、2年間で700時間くらい差がつきます。そうやって、周りの日比谷生に大差をつけたことで2位まで上がってこれたのだと思います。正直卓球部を引退してからは日本で一番勉強していた自信があります。お正月もテレビを1本も見ず、過去問は10年中9年分合格最低点を超えていました。慢心は一切せず、ずっと勉強し、合格。

中高の総括

中学時代、高校時代どちらも始まりはいつも下位層であることがわかります。そこから努力で這い上がってきました。さらに大学受験は少し余裕を持って合格できたと思います。それはやっぱり本気になる時期が早かったから。中学の時は中3の5月に対し、高校の時は高1の10月でした。受験は本気になる時期が早ければ早いほど絶対良いと思います。その際に注意すべきは絶対に慢心しないこと。ちょっとサボっても多分受かるという考えではなく、最後までやり切って確実に受かってやるという気持ちを持つことが大事だと思います。最後に脅し?ではありませんが東大文系に落ちてしまった僕の優秀な友人の言葉を載せておきます。「今勉強に身の入らない新三年生で、なんとなく日比谷にいるから東大受かるとしてる方は多分落ちるでしょう。先生にはあまり言われませんが、日比谷の現役東大合格者が20名なら、それは合格率20%ということなんです。東大合格者全国公立校トップの日比谷ですら100名以上東大を受験し、80名ほどが落ちているということです。皆さんには確実に(なんとなくでなく)合格できる力をつけて欲しいです。」



各教科のアドバイス

国語 中学生 高校生

Z会(学校)の予習の段階で自分自身が完璧に納得できるまでしっかり考えて解答を作る。

数学 中学生 高校生

数学的センスのようなものはある程度必要。ただそれは1つの問題に真摯に向き合い、ああでもない、こうでもないと思いを動かしながら格闘している中でしか生まれない。

英語 中学生

とにかく慣れることが大事。国語や数学と異なり、わからなければ解答を覚えることも必要。

理社 中学生

英数国でもそうだが学校の授業を大事にする。理社は細かい知識が問われることもあるので、曖昧な点を残さない。

英語 高校生

英単語、英熟語をしっかり覚える。その上で文法事項をより精密に理解し、解釈力(和訳力)を鍛える。

物理 高校生

原理をきちんと押さえる。入試問題は基本原理から解けるので、基本原理に曖昧な点を残さない。

化学 高校生

問題演習から得るものが非常に多く、大量の問題演習は必要。ただ問題演習に偏ると、問題集に載っていない知識の問題は解けないので、定期的に教科書を確認することも大事。

スケジュール

月	日	曜	受付時間	授業・テスト・模試など				保護者会・研究会など				
4	1	水	9 ~ 21		3K 英数国理社 講習⑤	2V 英数国理社 講習⑤	2K 英数国 講習⑤	1V 英数国 講習⑤				
	2	木	9 ~ 21		3K 英数国理社 講習⑥	2V 英数国理社 講習⑥	2K 英数国 講習⑥	1V 英数国 講習⑥				
	3	金	9 ~ 21		3K 確認テスト	2V 確認テスト	2K 確認テスト	1V 確認テスト			高1スタートダッシュ 国語 18:30~20:30	
	4	土	12 ~ 21								高1スタートダッシュ 英語 17:00~19:00	
	5	日	12 ~ 21									
	6	月	14 ~ 22	休講日								
	7	火	14 ~ 22	休講日								
	8	水	14 ~ 22	休講日								
	9	木		休室								
	10	金	14 ~ 22	休講日								
	11	土	12 ~ 22	休講日								
	12	日	10 ~ 20	4月度①								
	13	月	14 ~ 22									
	14	火	14 ~ 22									
	15	水	14 ~ 22									
	16	木		休室								
	17	金	14 ~ 22									
	18	土	12 ~ 22									
	19	日	10 ~ 20	4月度②								
	20	月	14 ~ 22									
	21	火	14 ~ 22									
	22	水	14 ~ 22									
	23	木		休室								
	24	金	14 ~ 22									
	25	土	12 ~ 22									
	26	日	10 ~ 20	4月度③								
	27	月	14 ~ 22									
	28	火	14 ~ 22									
	29	水	14 ~ 22									
	30	木		休室								
5	1	金	14 ~ 22									
	2	土	12 ~ 22									
	3	日		休室								
	4	月		休室								
	5	火		休室								
	6	水		休室								
	7	木		休室								
	8	金		休室								
	9	土	12 ~ 22									
	10	日	9 ~ 20			2V 4月度 月例テスト		1V 4月度 月例テスト				

Z会の教室
Z会進学教室 葛西教室

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6階 TEL03-5878-0844
受付時間 平日 14:00~22:00 日曜日・講習中 10:00~20:00

『葛西通信』の記事（バックナンバー）はWebからもご覧いただけます。

Z会 葛西